

当金庫は2024年1月15日に創立100周年を迎えます。



100th Anniversary

このまちが、すべて。
このまちに、すべて。



ANNUAL REPORT 2023



あなたと共に、ハーモニー・バンク
福岡ひびき信用金庫

当金庫の概要

(令和5年3月31日現在)

設立	大正13年1月
本店所在地	北九州市八幡東区尾倉2-8-1
出資金	34億62百万円
会員数	72,982人
役員数	557人
店舗数	43店舗（代理店1店舗を含む）
営業区域	福岡県一円 山口県下関市 大分県中津市



企業理念

1. 中小企業の健全な発展
2. 豊かな国民生活の実現
3. 地域社会繁栄への奉仕

経営理念

1. お客様と真摯に向き合い、期待を超える。
2. まちの元気をつくり、未来を照らす。
3. 金庫の発展と、職員一人ひとりの幸せを実現する。



CONTENTS

ごあいさつ	1	商品等のご案内・手数料一覧	18
業績トピックス	2	店舗のご案内	23
地域社会とひびしん	4	マネー・ローンダリング及びテロ資金供与対策の管理態勢	25
沿革	5	リスク管理の体制	27
役員・組織図	6	法令遵守(コンプライアンス)の体制	29
ひびしんインフォメーション	7	金融 ADR 制度への対応・主要な事業の種類	30
中小企業の経営支援に関する取組み	10	信金中央金庫のご紹介	31
地域活性化に対する取組み	14	開示項目一覧・当金庫のディスクロージャー誌 (資料編)の閲覧に係るご案内	33
総代会等に関する事項	16		

ごあいさつ



理事長
井倉 眞

会長
野村 廣美

平素より福岡ひびき信用金庫をお引立て頂き、心より厚く御礼申し上げます。

本年も、ディスクロージャー誌「ANNUAL REPORT 2023 業務のご案内」を作成致しました。弊金庫の経営方針や業務の内容、業績などをご紹介致しておりますので、ご高覧頂き、弊金庫へのご理解を一層深めて頂ければ幸甚に存じます。

令和4年度の日本経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、感染防止と社会経済活動の両立を目指し、まん延防止等重点措置など行動の制約を課すことが無かったことに加え、観光支援策や新型コロナウイルス水際対策の緩和などから、個人消費を中心に持ち直しの動きがみられました。為替相場においては、日本銀行が金融緩和政策の継続姿勢を維持する一方で、欧米諸国はインフレ抑制のため金融を急激に引き締めた結果、日米間の金利差が拡大し、一時約32年ぶりの円安水準となりました。為替相場の円安進行や長期化するウクライナ情勢の影響などから、エネルギー及び原材料の価格高騰が続き、日本国内の経済は大きな痛手を被ることになりました。

このような経済環境を背景に、令和4年度は中期経営計画に掲げた“地域に暮らす人々の心と生活（くらし）を豊かにする”というミッション実現のため、アフターコロナの取り組みに注力して参りました。

その結果、令和4年度の弊金庫の業績は経常収益15,123百万円（対前期比2.9%減）、経常費用12,921百万円（対前期比1.0%減）、経常利益2,202百万円（対前期比12.7%減）、当期純利益2,072百万円（対前期比12.5%増）となりました。

また、期末の自己資本比率は国内基準の4%を大きく上回る11.49%、不良債権比率は2.89%となりました。

これも偏に、会員の皆様方の平素よりのご支援の賜物と、深く感謝申し上げます。

おかげさまで、弊金庫は令和6年1月15日に創立100周年を迎えます。今後も、健全経営、経営基盤の一層の強化、地域社会の繁栄のため役職員一同専心して努めてまいります。今後ともなお一層のご支援、ご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

令和5年6月29日

会長 野村 廣美
理事長 井倉 眞

業績トピックス

預金積金の推移

令和4年度は、夏期キャンペーンとして、「子供応援定期預金【希】」を、下期より100周年キャンペーン定期預金「サングフル」及び「サングフルⅡ」を販売し、夏期は56億円、下期は189億円の合計245億円を獲得致しました。結果、定期預金残高は前期比22億円の増加となりました。

また、要求性預金残高は経済活動再開の動きに合わせ、サービス消費の回復傾向が続いていることや、物価の上昇が加速した影響などから、前期比36億円増加しました。

この結果、令和4年度の預金残高は、前期比61億円増加し7,838億円となりました。

預金積金残高 **7,838億円**



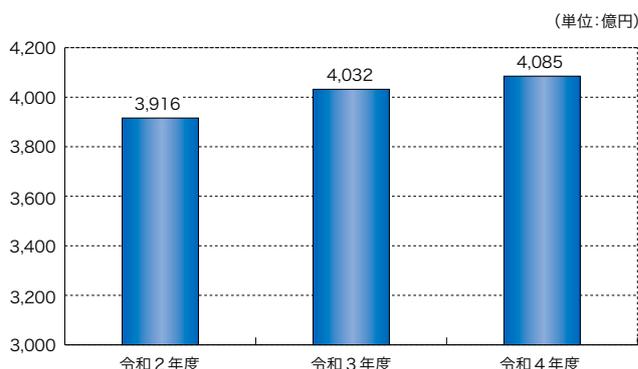
貸出金の推移

令和4年度の事業性融資は、証書貸付が27億円減少しましたが、新規の取引先の拡大などにより手形貸付が43億円増加するなど、前期比26億円の増加となりました。

また、個人向け融資につきましては、100周年ローンキャンペーン実施などから、消費者ローンで17億円、住宅ローンで9億円増加したため、前期比26億円の増加となりました。

その結果、貸出金残高は、前期比53億円増加の4,085億円となりました。

貸出金残高 **4,085億円**



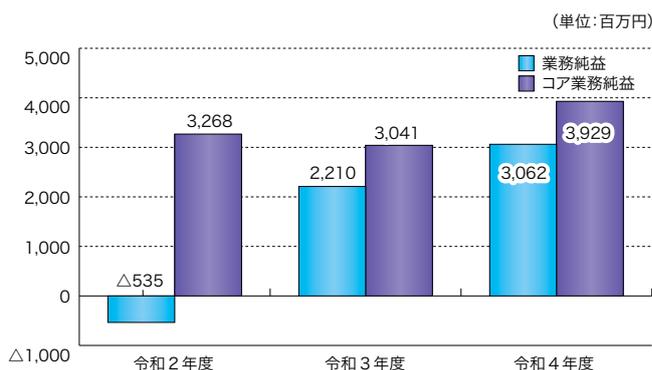
業務純益*1/コア業務純益*2の推移

貸出金利息収入や有価証券利息配当金、国債等債券売却益の増加等により、令和4年度の業務純益は30億6千2百万円となりました。

また、業務純益から一般貸倒引当金繰入額や国債等債券関係損益を除いたコア業務純益は、前期比8億8千8百万円増加し、39億2千9百万円となりました。

業務純益 **30億62百万円**

コア業務純益 **39億29百万円**



*1 業務純益・・・貸出金や有価証券等の受入利息や手数料などの収入から、預金等の支払利息や支払手数料、経費を差し引いたものです。

*2 コア業務純益・・・業務純益から、一般貸倒引当金および国債等債券関係損益を除いたものです。

業績トピックス

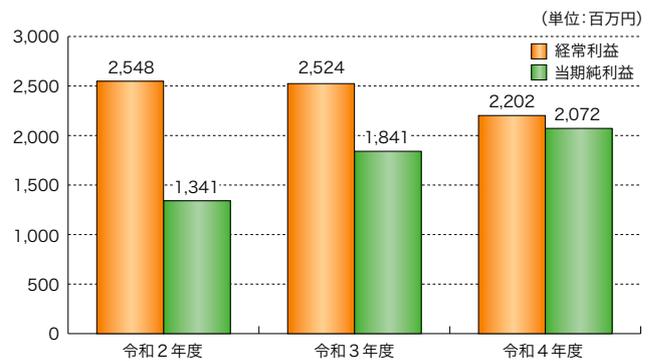
経常利益/当期純利益の推移

株式等売却益等の臨時収益が前期に比べ減少したため、令和4年度の経常利益は前期比3億2千1百万円減少し、22億2百万円となりました。

当期純利益は、前期比2億3千万円増加し20億7千2百万円となりました。

経常利益 22億 2百万円

当期純利益 20億 72百万円



単体自己資本比率

当金庫の令和4年度の単体自己資本比率は、11.49%となりました。

国内基準(4%)を大幅に上回る高い水準を維持しております。

※平成25年度末より、自己資本比率規制に関する金融庁告示第19号の一部改正に伴い、パーゼルIII基準により自己資本比率を算出しております。

自己資本比率 11.49%



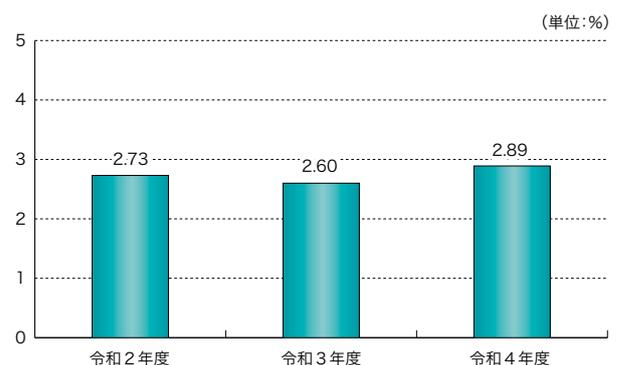
不良債権比率

令和4年度の金融再生法に基づく不良債権額は、前期比13億2千3百万円増加し118億7千5百万円となりました。

この結果、当金庫の不良債権比率は2.89%となりました。

当金庫は、法令等に基づき厳格な償却・引当を行っております。引き続き、健全な資産の維持に努めてまいります。

不良債権比率 2.89%



地域社会とひびしん

当金庫は、福岡県一円と山口県下関市、大分県中津市を事業区域として、地元の中小企業や住民の皆さまが会員となっており、お互いに助け合い、お互いに発展していくことを共通の理念として運営されている相互扶助型の金融機関です。

地元の皆さまからお預かりした大切な資金（預金積金）は、地元で資金を必要とするお客様に融資を行って、事業や生活の繁栄のお手伝いをするとともに、地域社会の一員として地元の中小企業や住民の皆さまとの強いネットワークを形成し、地域経済の持続的発展に努めております。また、金融機能の提供にとどまらず、企業としての社会的責任（CSR）を自覚し、文化・環境・教育といった面も視野に入れ、広く地域社会の活性化に積極的に取り組んでおります。



お客様からお預かりした預金積金は、幅広い資金ニーズにお応えし、地域にお住まいの方・事業者の方々に融資し豊かな暮らしや事業発展のお手伝いをいたしております。

お客様の資産づくりのお手伝いをさせていただくため、目的や期間に応じて選択していただけますよう、新商品の開発や一層のサービス充実に努めてまいります。

■有価証券 2,564億円

お預かりしている資金の一部は、有価証券等で運用しております。運用にあたっては、公共債等を中心に安全な運用に努めております。

令和5年3月31日現在

沿革

大正13年	1月	有限責任信用組合八幡庶民金庫を設立
昭和18年	10月	有限責任信用組合八幡庶民金庫と有限責任八幡信用組合が合併し「有限責任八幡庶民信用組合」が誕生
昭和25年	4月	中小企業等協同組合法の施行に伴い信用協同組合に改組
昭和26年	10月	信用金庫法制定に伴い改組改称し「八幡市信用金庫」として発足
昭和38年	6月	北九州市発足により「北九州八幡信用金庫」と改称
昭和48年	1月	「八信同友会」(現・ひびしん同友会)発足
昭和60年	10月	「はっしん経営大学」(現・福岡ひびき経営大学)第1期講座開講
平成 2年	4月	「八信ニューリーダー会」(現・ひびしんニューリーダー会)発足
平成 6年	1月	「はっしん経営者賞」(現・福岡ひびき経営者賞)創設
平成13年	4月	「インクスクラブ」設立
	11月	北九州八幡信用金庫と若松信用金庫が合併し「福岡ひびき信用金庫」が誕生 (理事長 古川育史 就任)
平成14年	9月	福岡ひびき信用金庫と直方信用金庫との二金庫間で合併基本協定書調印
	11月	福岡ひびき信用金庫・新北九州信用金庫・門司信用金庫・築上信用金庫・直方信用金庫の5金庫間で、合併基本協定書調印
平成15年	6月	高須支店新装オープン
	10月	福岡ひびき信用金庫・新北九州信用金庫・門司信用金庫・築上信用金庫・直方信用金庫が合併し、新生「福岡ひびき信用金庫」が誕生
平成16年	11月	荒生田支店新装オープン
平成17年	1月	小倉支店移転オープン
	2月	室町支店他2店舗を統合
	10月	三六支店他3店舗を統合
平成18年	1月	浜町支店他2店舗を統合
	4月	大里支店移転オープン
	6月	役員改選により 会長 古川育史 理事長 谷石喜一 就任
	10月	近衛橋支店他5店舗を統合
平成19年	2月	福岡支店新規開設
	10月	昭和町支店他2店舗を統合
平成20年	4月	門司港支店新装オープン
	5月	豊前支店新装オープン
	10月	本城東支店他1店舗を統合
平成21年	2月	「ひびしんビジネスフェア」初開催
	10月	総代改選し150名体制へ(新総代53名誕生)
		ひびしんニューリーダー会発足20周年記念大会開催
		木町支店他2店舗を統合
	12月	行橋支店新装オープン
平成22年	2月	「ひびしん女性創業塾」初年度開講
平成23年	2月	曾根支店新装オープン
	12月	預・貸金総和1兆円達成
平成24年	5月	町上津役支店新装オープン
	6月	理事長 野村廣美 就任
	10月	守恒出張所新規開設
	11月	ひびしん同友会発足40周年記念式典開催
平成25年	6月	古川育史会長退任
	10月	5金庫合併10周年記念「飛鳥IIクルーズ」実施
		当金庫及び大分みらい信金、西中国信金による「大規模災害発生時の相互支援に関する覚書」を締結
平成26年	2月	創立90周年・5金庫合併10周年記念式典開催
		葛原湯川支店を統合
	4月	大蔵支店を代理店へ移行
	5月	福岡ひびき経営者賞20周年記念式典開催
	6月	千早支店新規開設
	12月	折尾支店新装オープン
平成27年	3月	東二島支店新装オープン
	6月	宮丸支店を統合
	9月	宇野支店を統合
平成28年	9月	ベイサイドプラザ若松閉店
平成30年	1月	椎田支店・築城支店を統合し、築上町支店新装オープン
	5月	当金庫と磐田信用金庫の二金庫間で業務連携協定を締結
	8月	守恒出張所閉店
平成31年	4月	九州16金庫「飛鳥IIしんぎんりレクルーズ」開催
令和 1年	7月	黒原支店を移転し、城野支店として新装オープン
	9月	前田支店を統合
	10月	中央町支店、小石支店、原町支店をサテライト店舗へ移行
		大蔵代理店、中央町支店、小石支店、天籟寺支店、原町支店の5店舗において「昼休み」時間を導入
令和 2年	6月	役員改選により 会長 野村廣美 理事長 井倉眞 就任
令和 3年	2月	則松支店、中原支店、頓野支店をサテライト店舗へ移行し、「昼休み」時間を導入
	5月	中間支店新装オープン
	6月	若宮支店において「昼休み」時間を導入
	10月	原町支店を統合
	11月	二島支店新装オープン
令和 4年	3月	北方支店を移転し、守恒支店として新装オープン
	5月	18店舗において、「昼休み」時間を導入
	11月	苅田支店新装オープン
令和 5年	2月	天籟寺支店を統合
	5月	5店舗において、「昼休み」時間を導入



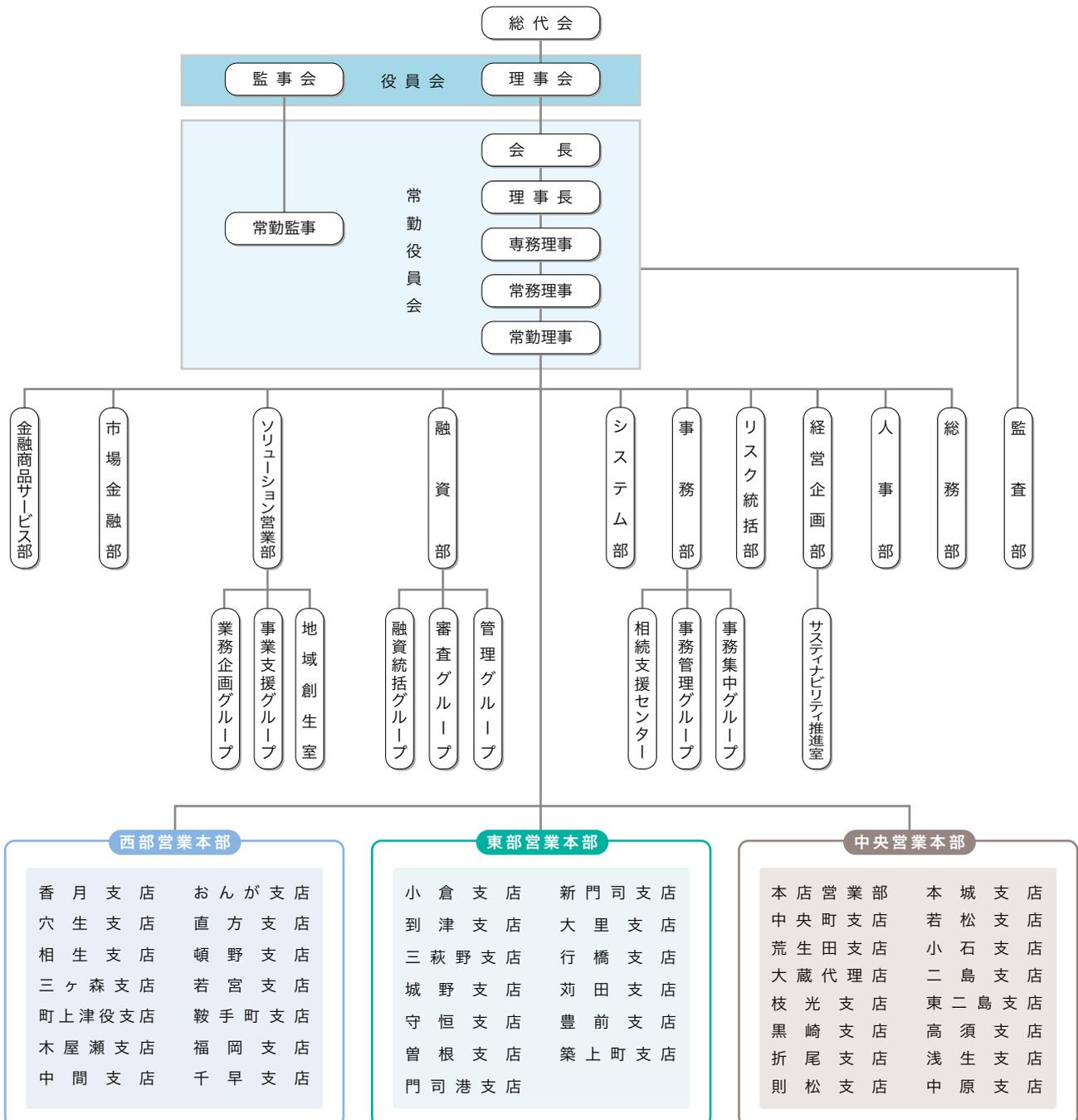
令和4年11月21日 苅田支店新装オープン

役員

会長	野村 廣美	非常勤理事	垣迫 裕俊 (注1)
理事長	井倉 眞	非常勤理事	井上 龍子 (注1)
専務理事	御手洗 範雄	常勤監事	石井 康雄
専務理事	唐生 昌平	非常勤監事	鈴木 雅子 (注2)
常務理事	黒木 清輝	非常勤監事	東 能利生 (注2)
常務理事	一江 哲哉		
常勤理事	田中 正浩		
常勤理事	吉田 昌弘		
常勤理事	江崎 鶴彦		
常勤理事	森 重隆		

(注1) 理事 垣迫 裕俊、井上 龍子は、信用金庫業界の「総代会の機能向上策等に関する業界申し合わせ」に基づく職員外理事です。
 (注2) 監事 鈴木 雅子、東 能利生は、信用金庫法第32条第5項に定める員外監事です。

組織図



※第72回通常総代会（令和5年6月28日）終了後の役員及び組織図を掲載しております。

ひびしんインフォメーション

苅田支店 新装オープン

令和4年11月21日(月) 苅田支店が新装オープンしました！
黒をベースとした外壁と庇には木材を使用した造りで、店内は吹き抜け構造で、開放感と温かさを感じて頂ける店舗となっております。営業車両は環境に配慮し、当金庫初となるEV車両を導入いたしました。今後もCO2排出量削減に向けた活動を積極的に行ってまいります。
苅田地区の皆さまをはじめ、地域の発展に貢献できるよう職員一同精一杯尽力してまいります。皆様のご来店を心よりお待ちしております。



サステナビリティ推進体制の強化

お取引先の持続可能な経営の支援に加え、地域活性化や環境問題といった課題に対応するため、令和5年4月に職員3名による「サステナビリティ推進室」を創設いたしました。SDGsやESGに関する専門部署の創設は、九州の信用金庫では初の取組みとなります。時代や環境の変化に伴い、社会的課題はますます多様化しており、当金庫を支えていただいている全てのステークホルダーとともに持続可能な社会経済の実現を目指してまいります。

またSDGsへの取組みの一環として、令和4年12月23日 東京海上日動火災保険株式会社と「地域のサステナビリティ推進に関する包括連携協定」を締結いたしました。

令和5年5月より、同社の「SDGs診断ツール」の使用も開始しております。お取引先ごとのSDGs目標達成の重点課題を洗い出し、当金庫からご提供できるソリューションを含め、具体的な解決策のご提案やオリジナルのSDGs行動宣言書の作成支援など、お取引先のSDGs達成をサポートしてまいります。



2023年5月17日

SDGs行動宣言
福岡ひびき産業株式会社

わが社は、企業活動を通じて、社会課題の解決に取り組み、SDGs達成に貢献しています。

項目	関連するSDGsのゴール	SDGs達成に向けた取組
コンプライアンス遵守	1, 2, 4, 5, 8, 10, 16	法令遵守と「環境・社会・ガバナンス」の3つの観点から経営を推進しています。
地域への貢献	1, 2, 3, 4, 5, 8, 10, 11, 13, 14, 15, 16, 17	社会課題の解決と地域活性化の推進に取り組んでいます。
レシリエントな社会づくり	1, 2, 3, 4, 5, 8, 10, 11, 13, 14, 15, 16, 17	気候変動や災害リスクへの対応と事業の持続可能性の確保に取り組んでいます。

全社でコンプライアンス遵守を徹底します。事業活動を軸に地域の発展に貢献します。いっしょに社会課題を解決する。次世代に強い製造の創造を推進します。

診断レポート

お客様名: 福岡ひびき産業株式会社
診断日: 2023年5月19日

【診断結果】

【総評】
SDGsについての取組が進んでいます。今後は、社会課題解決の観点からの取組を推進してまいります。

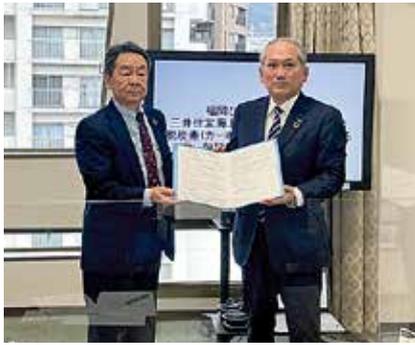
【貴社の強み】

項目	強み
コンプライアンス遵守	法令遵守と「環境・社会・ガバナンス」の3つの観点から経営を推進しています。
地域への貢献	社会課題の解決と地域活性化の推進に取り組んでいます。
レシリエントな社会づくり	気候変動や災害リスクへの対応と事業の持続可能性の確保に取り組んでいます。

【貴社の課題】

項目	課題
気候変動への対応	気候変動や災害リスクへの対応と事業の持続可能性の確保に取り組んでいます。
製造に配慮した製品・サービスの提供	製造に配慮した製品・サービスの提供

【自由記述欄】



令和5年2月13日 三井住友海上火災保険株式会社と「脱炭素（カーボンニュートラル）に関する包括連携協定」を締結いたしました。相互に連携して、お取引先に対する脱炭素の取組みに関する支援を行うことにより、お取引先の持続的な成長と地域経済の活性化を目指してまいります。

令和5年4月より、SDGs応援融資「未来の希望」を発売いたしました。SDGs達成に積極的な事業者様のご利用はもちろん、本商品をきっかけに当金庫営業エリアにおける更なるSDGs理念の周知および浸透を図ってまいります。



ひびしんのSDGsに対する取組み

福岡ひびき信用金庫「SDGs宣言」

福岡ひびき信用金庫の「SDGs」への取組みについて

1 中小企業の健全な発展



- SDGs応援融資「未来の希望」の発売
- SDGs宣言支援（SDGs診断ツール）
- 新商品の開発支援（大企業開放特許活用による知財マッチング）
- 企業課題解決支援（M&A、事業承継）
- 販路拡大支援（しんきん合同商談会、よい仕事おこしネットワークなど）
- 新規創業支援（創業塾）
- 異業種交流支援（ひびしん同友会）
- 若手経営者の資質向上支援（ひびしんニューリーダー会）
- 経営者の知識向上支援（福岡ひびき経営大学、各種セミナー）
- 光る経営者の発掘（福岡ひびき経営者賞）
- 大学生の視点による企業魅力発信コンテンツの作成と情報発信支援

2 豊かな国民生活の実現



- 行政と連携し、地域の健康増進支援（北九州市民をがんから守るプロジェクト）
- 環境に負荷をかけない店舗作り、ペーパーレスの推進など環境に配慮（粗品袋を環境負荷の少ない袋へ変更、庫内コミュニケーションツールのDX化）
- 地域の環境美化活動（北九州市道路サポーター）
- 子育て応援商品の企画販売（子宝住宅ローン、教育ローンなど）
- EV、電動バイクの導入

3 地域社会繁栄への奉仕



- スポーツ活動、文化活動支援（ひびしんカップ少年野球大会、ひびしん野球教室、ひびしんカップソフトテニス大会、ひびしん俳句大賞、黒崎ひびしんホールネーミングライツ）
- 地域情報の発信（ひびしんぐるめぐりマップ）
- 地域のイベントに積極的に参加（門司みなと祭、若松みなと祭り、わっしょい百万夏祭りなど）
- 地域に貢献する人材の育成（北九州ゆめみらいワーク、大学での講義など）
- 年齢・性別に関係なく活躍できる企業風土作り（マネーコンサルジュ、マイスター）
- デジタルチャネルの拡大（店頭窓口のタブレット化、ひびしんアプリの機能強化）

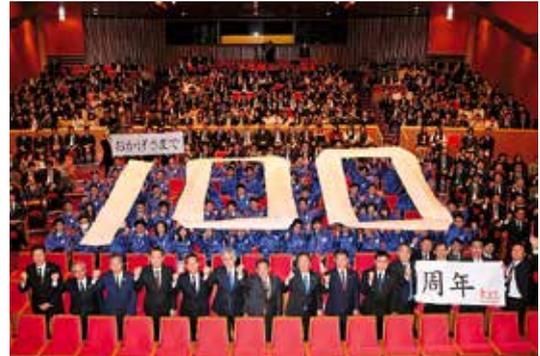
創立100周年に向けた取組みについて

創立100周年への決意

令和6年1月15日の記念すべき創立100周年に向けて、役職員一同、お取引先および地域の皆様との絆をさらに深め、明るく豊かな未来を創るため、時代の流れに対応した変化と挑戦を続けてまいります。

決起大会の開催

創立100周年という大きな節目の年度を迎えるにあたり、全役職員が一致団結し、各種周年記念事業を成し遂げる強い意志を醸成するため、決起大会を開催いたしました。



周知活動及び記念商品発売

創立100周年記念ポスター制作による当金庫内外への周知のほか、100周年を記念した金利優遇商品の取り扱いを期間限定にて開始しております。

【周年ポスター】



【定期預金】



【消費者ローン】



【住宅ローン】



地域貢献事業

取引先及び地域住民に対する感謝の気持ちを伝えるため、様々な地域貢献事業に取り組んでおります。また、創立100周年を記念した寄付事業として、未来を担う子ども達へのICT教育環境実現の一助として、当金庫店舗が所在する自治体の小・中学校310校に対し、65型TVの寄贈を行いました。



中小企業の経営支援に関する取組み

① 中小企業の経営支援に関する取組み方針

当金庫では地域に密着した金融機関としての強みを生かし、中小企業の実態を把握、企業の経営課題解決に対する主体的な取組みに対し積極的に支援を行います。また、平成28年9月に金融庁が公表した「金融仲介機能のベンチマーク」をこれらの取組みを客観的に評価する重要な指標と位置付け、その数値を開示し、地域のお客様にご理解いただけるように努めてまいります。支援に当たっては、必要に応じて外部専門家・外部支援機関等と連携し企業の実態に合った支援を適切に行うように取り組んでいます。

なお、以下の表で「金融仲介機能のベンチマーク」に該当するものは **ベンチマーク** と表示しております。

② 中小企業の経営支援に関する態勢整備・取組みの状況

全取引先数と地域の取引先数の推移、及び、地域企業数との比較(先数単体ベース) **ベンチマーク**

(単位:先)

	令和4年3月期				令和5年3月期			
	地元(福岡県)		地元外(福岡県外)		地元(福岡県)		地元外(福岡県外)	
	北九州市	北九州市以外	大分県・山口県	その他	北九州市	北九州市以外	大分県・山口県	その他
全取引先数	9,303				9,517			
地域別の取引先数の推移	9,218		85		9,425		92	
	6,290	2,928	36	49	6,350	3,075	36	56

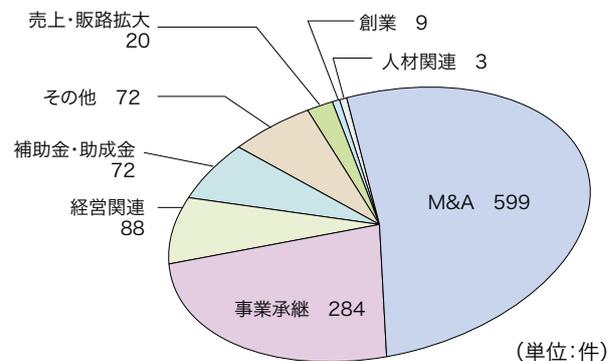
令和4年度 支援課題別集計

中小企業からの経営相談は営業店と本部が連携して行います。また、高度専門的な課題の場合は、福岡県よろず支援拠点・北九州市中小企業支援センター等との連携により課題解決のお手伝いを致しました。

支援課題	先数	
	件数	構成比
M & A	599	52.2%
事業承継	284	24.8%
経営関連	88	7.7%
補助金・助成金	72	6.3%
その他	72	6.3%
売上・販路拡大	20	1.7%
創業	9	0.8%
人材関連	3	0.3%
合計	1,147	100.0%

※M&Aには譲受・譲渡の両方相談を含む。

令和4年度経営相談 支援課題別 先数



(単位:件)

創業・新規事業開拓の支援

当金庫が関与した創業件数 **ベンチマーク**

	令和4年3月期	令和5年3月期
創業関与件数	86件	91件

創業支援先数 **ベンチマーク**

	令和4年3月期	令和5年3月期
①創業計画の策定支援	3先	9先
②創業期の取引先への融資(保証協会)	83先	82先

■ ひびしん女性創業塾

当金庫では、地元の創業・起業を目指すやる気のある女性を応援するため、「ひびしん女性創業塾」(以下「本創業塾」という。)を継続的に開催しています。本創業塾の特徴は、単なる学びの場で終わらないように、受講後のフォローにも注力し、修了生と一緒に創業に向けて事業プランを考え、事業に必要な資金のお手伝いをするなど



金融機関だからこそ可能な創業支援を実現させ、受講生の想いを創業という形に変えられるように努めています。

第14回目となる「ひびしん女性創業塾」(令和4年10月から12月の4日間コース)では、11名の方に受講いただき、最終的に2名の方が創業されました。尚、全14回の累計受講者は393名、創業者82名となっています。

● 女性創業塾受講生の創業状況 (令和5年4月30日現在)

(単位：名)

	1期	2期	3期	4期	5期	6期	7期	8期	9期	10期	11期	12期	13期	14期	1~14期計
受講者(a)	42	35	39	28	30	36	32	25	30	28	21	18	18	11	393
受講時点で既に創業済み(b)	6	2	6	2	3	7	5	4	6	4	2	6	5	2	60
受講後創業(c)	10	8	9	6	6	7	6	3	9	2	10	3	1	2	82
創業率(c/(a-b)×100)	27.8%	24.2%	27.3%	23.1%	22.2%	24.1%	22.2%	14.3%	37.5%	8.3%	52.6%	25.0%	7.7%	22.2%	24.6%

● 成長・成熟段階における支援

● 販路開拓支援を行った先数 **ベンチマーク**

		令和4年3月期	令和5年3月期
販路開拓支援を行った先数	地 元	28件	20件
	地 元 外	8件	7件
	海 外	2件	2件

■ 自販機活用による販路拡大支援

コロナ禍による取引先企業の売上減少、テイクアウト需要への対応策として、富士電機株式会社と連携し、自販機を活用した販路拡大支援を行っています。自販機の活用により、取引先においては非対面取引での新規顧客獲得や販売チャネル拡大による売上増加、コストを抑えた事業拡大(転換)、人件費削減、自販機への社名ラッピングによる宣伝効果などが期待できます。



● 事業承継・経営改善・事業再生・業種転換等の支援

事業承継・経営改善・事業再生・業種転換等の支援業務には中小企業基盤整備機構、福岡県信用保証協会、北九州産業学術推進機構等の外部支援機関との連携強化に努め、実効性の高い支援の実現を目指して取り組んでいます。

● 事業承継等の支援への取り組み **ベンチマーク**

	令和4年3月期	令和5年3月期
M & A 支援先数 (相談・情報件数含む)	535先	599先
事業承継支援先数 (相談・情報件数含む)	281先	284先

● 外部と連携した本業支援 **ベンチマーク**

	令和4年3月期	令和5年3月期
外部専門家を活用して本業支援を行った取引先数	102先	68先
取引先の本業支援に関連する中小企業支援策の活用を支援した先数	9先	10先

● 金融機関が貸付条件の変更を行っている中小企業の経営改善計画の進捗状況 **ベンチマーク**

		令和4年3月期		令和5年3月期	
中小企業の条件変更先に係る経営改善計画の進捗状況	条件変更総数	好調先	30先	488先	21先
		順調先	49先		39先
		不調先	399先		428先
		478先			

■ 事業承継支援に向けた取り組み

経営者の高齢化と後継者不在による廃業が進んでおり、今後さらなる企業数低下・雇用喪失が危惧されております。そのような環境のもと、アフターコロナにおける「会社の今後」を考えるきっかけ作りや更なる成長・発展を実現させるため、日本政策金融公庫・株式会社日本M&Aセンター等の外部支援機関と連携し、様々なソリューションを提供しております。

■ 大学生と連携した取り組み

当金庫グループ（当金庫及び、ひびしんキャピタル株式会社）にて、当金庫取引先（葬祭業）の経営課題解決を目的とした課題解決型ビジネスプラン発表会を企画・実施しました。

本会は、経営環境の変化に伴い「利用頻度の減った大斎場の有効活用」という同社が抱える経営課題の解決を図るため、北九州市立大学経済学部の大学生が解決案を検討し、その結果を発表したものです。

発表においては、大学生がその柔軟な発想力を活かしたアイデアを提案、審査員からの質問に対しても真摯に対応、当金庫取引先の代表者からは感謝の言葉をいただき、盛況のうちに終了いたしました。



③ 多様な顧客ニーズに応えるための取組み

当金庫では中期経営計画に掲げた人材育成強化のため職員向けに様々な研修を実施しています。地域社会に愛され、地域に貢献出来る人材となるべく、日々研鑽に励んでいます。新入職員については配属前に、2カ月間の徹底した研修を受講します。

● 取引先の本業支援に関連する研修等の実施数、研修等への参加者数、資格取得者数 **ベンチマーク**

		令和4年3月期	令和5年3月期
取引先の本業支援 に関連する研修等の 実施数、研修等への 参加者数、資格取得 者数	研修実施回数	15回	12回
	参加者数	176名	181名
	資格取得者数	3名	9名

● 新入職員の金融スキル向上研修



● 職員のソリューション営業能力強化

当金庫は、課題解決型営業を実践していくために、総合的なコミュニケーションスキルの向上に向けた研修を行っています。



「経営者保証に関するガイドライン」への取組み

当金庫では、「経営者保証に関するガイドライン」の趣旨や内容を十分に踏まえ、お客様からのお借入や保証債務整理の相談を受けた際に真摯に対応するための態勢を整備しています。また、経営者保証の必要性については、お客様との丁寧な対話により、法人と経営者の関係性や財務状況等を把握し、同ガイドラインの記載内容を踏まえて十分検討するなど、適切な対応に努めています。

	令和3年3月期	令和4年3月期	令和5年3月期
新規に無保証で融資した件数	2,413件	1,516件	1,600件
新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合	18.95%	16.60%	22.51%
保証契約を解除した件数	71件	87件	92件
経営者保証に関するガイドラインに基づく保証債務整理の成立件数 (当金庫をメイン金融機関として実施したものに限定)	0件	0件	0件